

# 河南町・富田林市消防広域化について

河南町総合政策部  
河南町消防本部

# 河南町の消防の現況

河南町消防本部

1消防署  
24人

救急件数  
(H12)536件⇒(H25)704件

装備 ポンプ車1台、タンク車1台  
救急車1台(予備車1台)

体制 消防隊1隊、救急隊1隊

常時 消防隊 3人、救急隊 3人、通信指令 1人の7人体制(日勤者除く)

平成25年4月1日現在  
平均年齢 38.8歳

# なぜ、今広域化するの

近年

大規模化する災害、住民ニーズの多様化への対応

重複する救急(年間70件)の対応⇒消防署員0人では、次の消防救急に対応できない

火災など初動体制が十分取れるか

⇒消防1隊かない

大規模災害時の初動体制が十分できない

火災や救急に対して、実戦での経験が不足  
的確な判断ができるか

広範な防災活動への対応ができない

高度な車両、資器材が十分整備できない(財政規模から)

山での遭難事故に十分な体制がとれない

予防分野における専門分野を担当する職員を育成できるか

# 消防救急無線のデジタル化

平成28年5月～ デジタル化

河南町単独での整備

(無線のデジタル化、高機能指令センター)

デジタル無線整備費用概算

単位：百万円

	事業費計	国庫補助金	地方債	一般財源
消防救急デジタル無線整備	160	56	94	10
指令センター整備	210	0	210	0
事業費計	370	56	304	10
本町の負担額			210	10

毎年度  
28百万円  
の返済

地方債10年償還

# 消防力の向上

住民サービスの向上

高度化・専門化への対応



消防救急無線のデジタル化  
救助工作、はしご対応 など

## 本町単独整備

### ①レスキュー隊の配置の場合

人件費 導入時 54百万円(人員12名増程度)  
救助工作車購入 80百万円

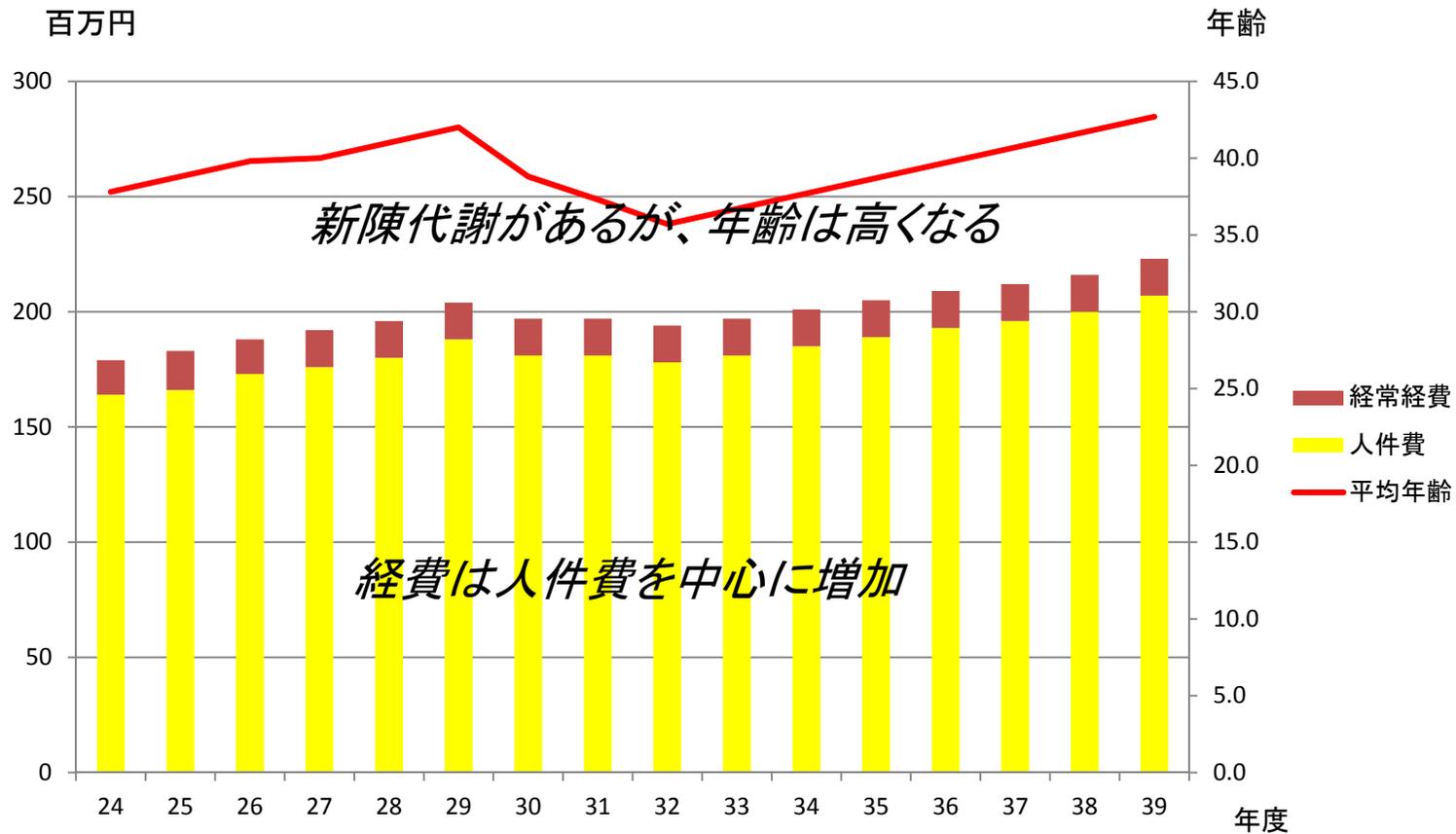
消防の人員、  
経費の増

### ②レスキュー隊+はしご車配置の場合

人件費 導入時72百万円(人員16名増程度)  
救助工作車購入 80百万円  
はしご車購入 150百万円

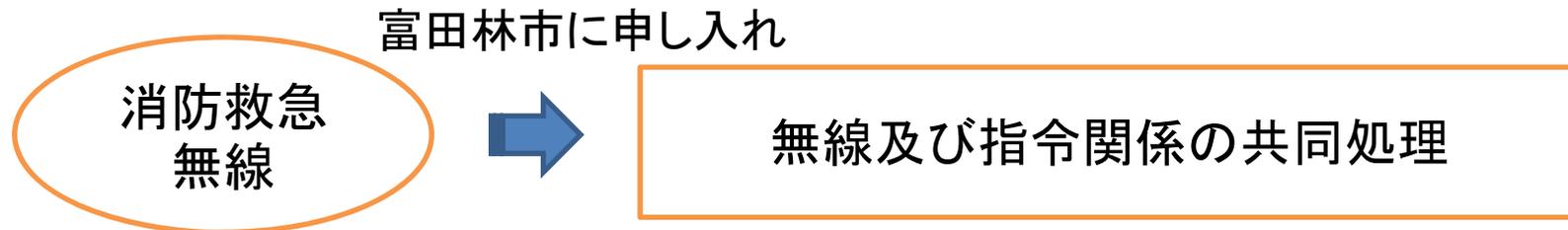
本町で維持  
していける?

# 消防職員の平均年齢と常備消防経費 (見込み)



高度化する救急医療や専門性が増大する消防業務  
 消防の機動性や消防力の強化に限界

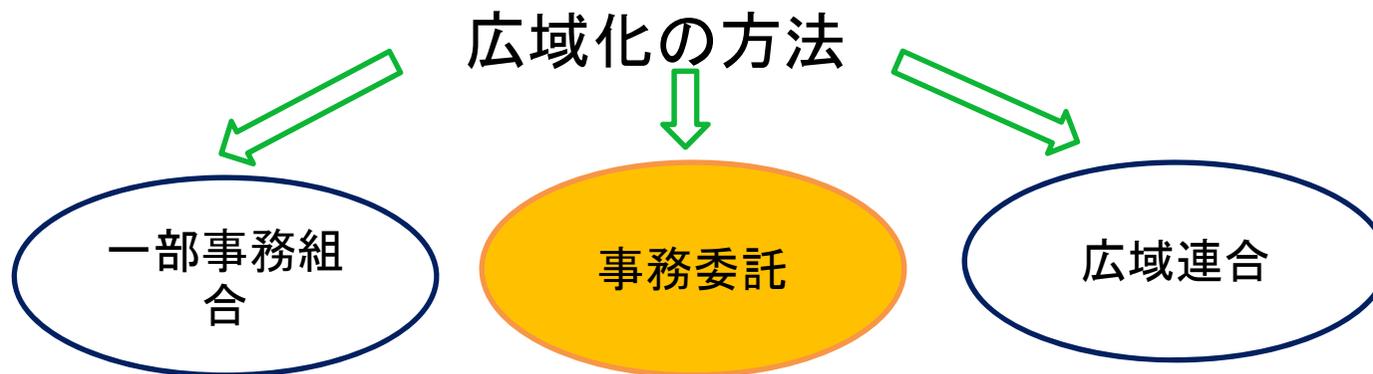
# 富田林市との連携



平成28年5月まで



常備消防の広域化(国の方針に合致)



# 国の広域化の推進方針

## 市町村の消防の広域化に関する基本指針(平成18年)策定

○おおむね30万人以上の規模を目安

○都道府県で推進計画策定  
(府内4ブロック)



その後、改定  
(府内6ブロック)

## 市町村の消防の広域化に関する基本指針(平成25年)改定

○必ずしも30万人規模でなくても、地域の実情を考慮して

○広域化重点地域の指定(新設)

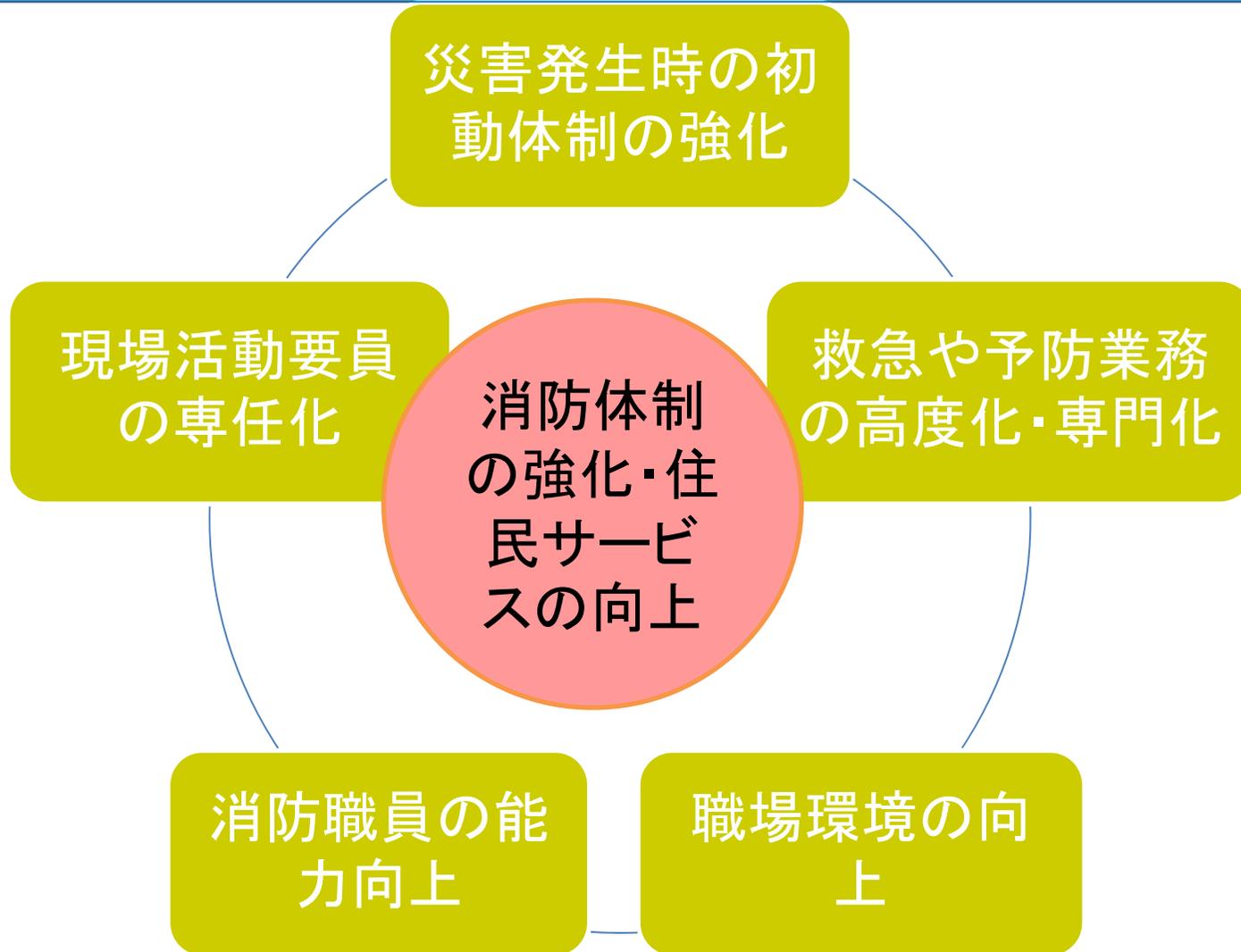
河南町及び富田林市が指定



○消防防災体制の強化  
(東日本大震災後)

○財政支援の拡充(25年度～)  
緊急防災・減災事業債の拡充  
(28年度まで)

# 消防事務の広域化の意義



# 広域化を進めるにあたって

消防組織法第34条

広域消防運営計画

事務委託

常備消防

広域化の方式、事務の範囲  
広域化の開始時期

平成26年10月1日

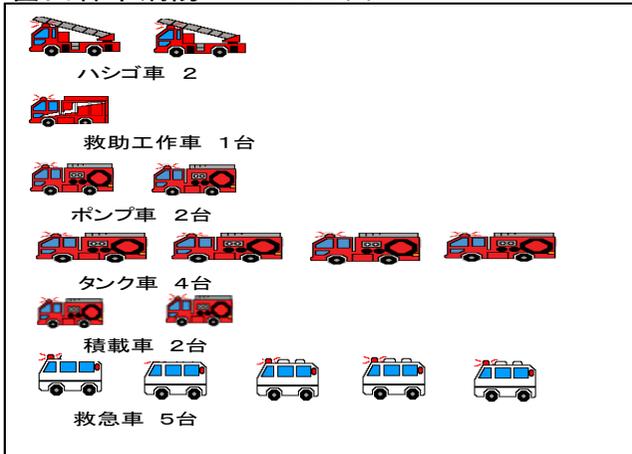
消防本部の組織  
職員の処遇

施設整備等  
経費の負担等

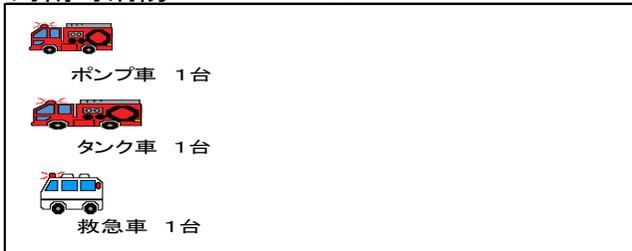
ETC

# 広域化後のすがた

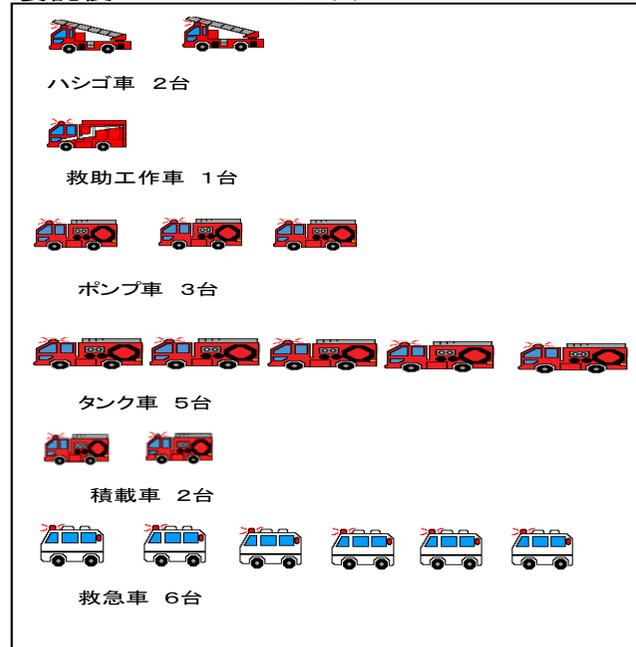
富田林市消防 134人



河南町消防 24人



委託後 158人



1消防本部 1消防署 4分署  
(金剛、太子、河南、千早赤阪)

消防団、消防水利にかかる事務などは、委託しない

# 事務委託にかかる経費負担

(1)事前準備経費



河南町が全額負担

(2)消防事務にかかる  
人件費



負担する職員数割  
158人のうち24人分を負担(平均給与)

(3)消防事務にかかる  
経常経費



人口割

(4)共用する消防施設  
整備にかかる経費



人口割

(5)消防救急無線デジタル  
化、高機能指令セン  
ター整備にかかる経費



均等割20%、人口割80%

富田林市が既に受託している負担割合と同じ

# 負担する経費の例①

## (1)事前準備経費

- ①庁内LAN整備 ②貸与品統一 ③車両、庁舎等標示 ④委託に必要なその他事前準備経費
- (例)消防署のデジタル受信設備(30百万円程度)、消防職員の退職手当相当額(200百万円程度) など

## (2)消防事務にかかる人件費

- ①職員の給料、職員手当、共済費
- ②職員の退職手当(委託後の年数も含めて按分)

## (3)消防事務にかかる経常経費

- ①消防資機材の維持管理費
- ②消防本部、消防署等の施設の維持管理費
- ③消防にかかる一般事務経費 など

# 負担する経費の例②

## (4)共用する消防施設整備にかかる経費

- ①共用する車両、備品等の整備、更新等
- ②共用する施設整備
- ③共用する施設整備、車両等にかかる起債の返済  
(例)ホースなどの備品整備、車両の整備にかかる経費 など

## (5)消防救急無線デジタル化、高機能指令センター整備にかかる経費

- ①デジタル無線整備費及び起債の返済
- ②高機能指令センター整備費及び起債の返済

住民基本台帳人口(平成25年10月1日)

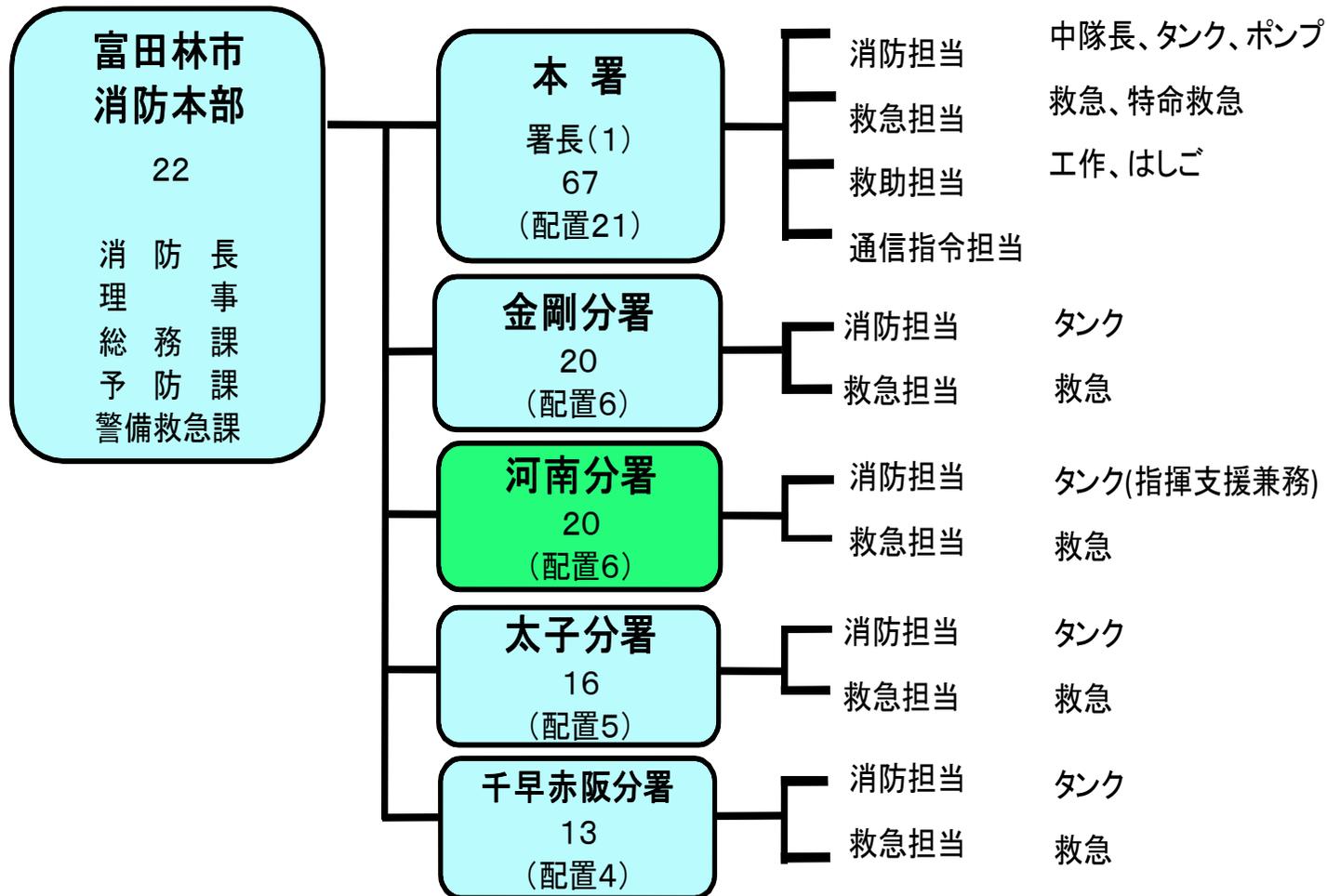
	人 口
富田林市(太子町、千早赤阪村)	137,202
河南町	16,191
合計	153,393

### 具体的な負担割合

人口割 10.6%程度

均等割20、人口割80 13.5%程度

# 委託後の消防組織



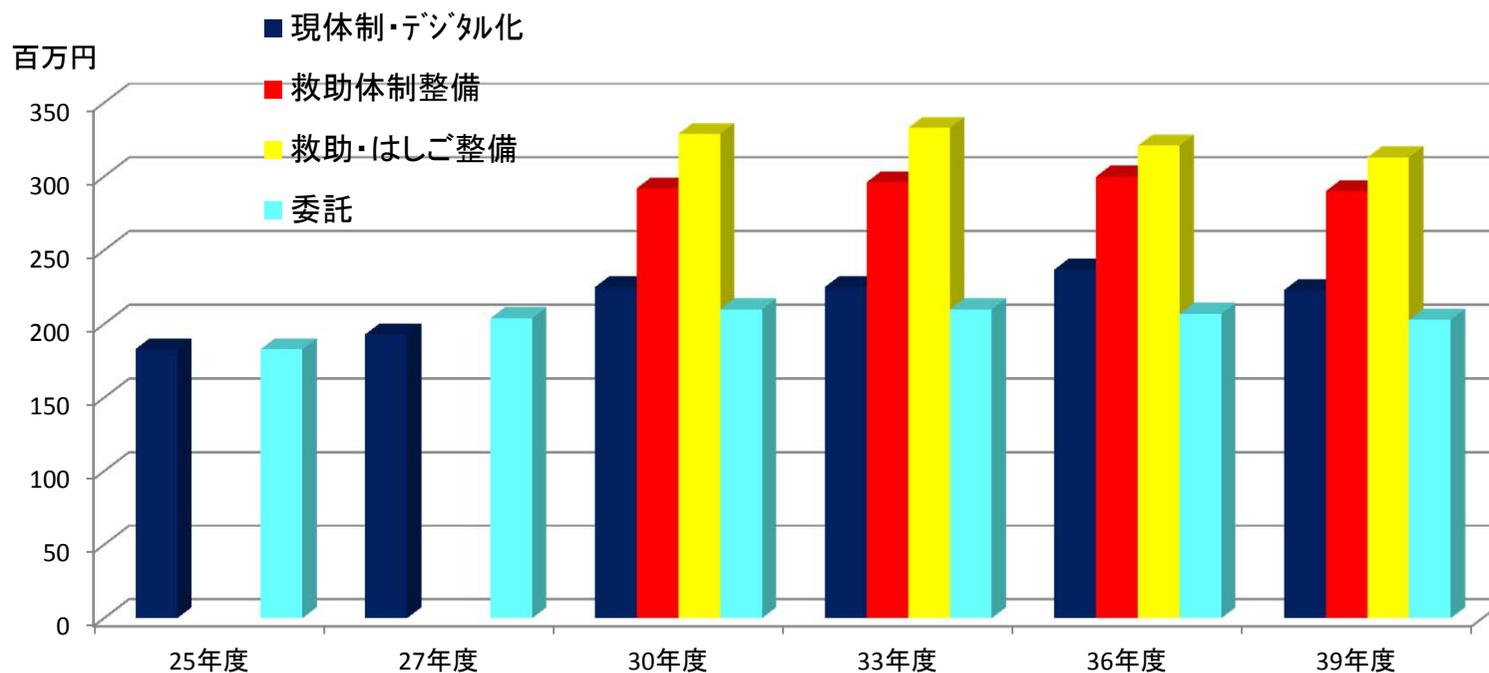
# 単独消防と広域化の見通し

## ①単独で維持

(今後の消防ニーズに応えられるか)

## ②単独で維持し、消防力の向上

## ③富田林市に常備消防事務を委託



# 消防広域化に向けたスケジュール

	25年度				26年度							
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
富田林市・河南町消防運営計画				消防組織法第34条により定める。	パブコメ	計画成案となる				<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務委託 10月1日～</li> <li>・委託事務⇒常備消防事務</li> <li>保安3法にかかる事務(府権限移譲)</li> <li>・河南分署となる</li> </ul>		
事務委託にかかる準備(河南町で行わなければならない事業)							(1)消防救急デジタル無線の受信設備 (2)車両(広報連絡車)の購入	富田林消防本部・河南分署間の庁内LAN				
議会						6月議会	規約の議決 事前準備にかかる予算		9月議会	条例等の整備 委託にかかる予算		
富田林市のデジタル化												
無線のデジタル化整備事業	デジタル無線整備					高機能消防指令センター整備						
							26年度中に整備					